

# みんなで防災 2020

代表者 松木 謙太 (創造工学部創造工学科 3 年)

## 1. 目的と概要

このプロジェクトの目的は二点あります。一点目は地域の防災力を向上させること、二点目は香川大学防災士クラブの活動を地域の方に発信することです。近年、日本各地で様々な災害が発生しており、香川県でも南海トラフ大地震等の災害に備える必要性があります。子供たちが防災に関心を持つことで、それぞれの家庭で防災について話し合うきっかけになり、地域全体の防災力向上につながると考えました。この目的を達成するため、小学生を対象に zoom を用いて自宅で楽しく防災について学べるイベントを実施しました。

### 実施内容

- ・ 防災工作 (新聞紙スリッパ、簡易マスク)
- ・ 非常食クッキング (じゃがりこで作るポテトサラダ、蒸しパン、オイルサーディン)
- ・ 非常持ち出し袋の展示
- ・ ハザードマップの展示
- ・ 香川大学防災士クラブの活動を紹介

## 2. 実施期間 (実施日)

令和 2 年 11 月 23 日

## 3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクトでは、主に三つの内容を実施しました。一つ目は、zoom を用いて実際に手を動かしながら楽しく学べる防災工作や非常食クッキングです。防災工作では、手に入れやすい材料で子供たちでも簡単に作ることができ、避難所生活で役立つような工作を紹介しました。非常食クッキングでは、各家庭で揃えやすく保存しやすい食品を用いて、災害時に貴重な水を大切に使用するための方法を紹介しながら行いました。二つ目は、複数の非常持ち出し袋を展示しながら、各家庭によって必要な備えが異なることを紹介しました。子供たちや保護者の方の疑問に答え、具体的にどのような備えをしておくべきなのか一緒に考える機会になりました。三つ目は、今後の予定ですが YouTube

上で防災士クラブの活動を実際の写真を用いながら紹介を行います。YouTube を利用することで、大学近隣の方だけでなく、たくさんの人に配信することが可能になると考えています。加えて、紹介の様子が YouTube 上に残っているため、今後も様々な方に防災士クラブを知ってもらうきっかけになると考えます。

このプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮し、zoom を用いた非対面型を採用し、例年と異なる形式での実施となりました。そのため、例年通りのやり方をそのまま落とし込むのではなく、試行錯誤しながら企画・準備を行いました。また、参加申し込みの受付や zoom のアドレスを送信するといったメールのやりとり、zoom のカメラ機能など、プライバシーの保護や個人情報の管理等について細心の注意をもって取り組むことができました。

#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、保護者と子供が一緒になって防災について考えるきっかけとなったのではないかと考えています。家庭内での備蓄など、やらなければいけないことは分かっているが、何からしたらいいのか分からないなど、一般の方にとって防災に関しては分からないことだらけ、というのが現実です。しかし、今回自宅で、親子で、プロジェクト参加していただけたため、お子様からも保護者のかたからも気軽に質問して頂くことができました。これにより、家庭内での防災の質の向上に貢献できたのではないかと考えています。

また、我々学生に対しても、防災教育を見直すことができるきっかけになりました。防災教育をオンラインのみで実施してきたが、コロナ渦の影響でそれ以外の対処法を発見することができました。このことにより、様々な活動に幅を持つことができました。今後、被災地に現在足を運ぶことができない状況ではあるが、現地の学生の協力のもとでどのような企画をすることができるのではないかと考えています。

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

我々学生に対しても、防災教育を見直すことができるきっかけになりました。防災教育をオンラインのみで実施してきたが、コロナ渦の影響でそれ以外の対処法を発見することができました。このことにより、様々な活動に幅を持つことができました。今後、被災地に現在足を運ぶことができない状況ではあるが、現地の学生の協力のもとでどのような企画をすることができるのではないかと考えています。

#### 6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今回のプロジェクトは、コロナの影響により例年とは異なり ZOOM を通して実施致しました。本来であれば大学内で行うことですが、ZOOM で行ったため、自宅からの参加で気軽に参加していただけるのではないかと考えていました。しかし、実際には参加者が思った以上に少なく、この点に関しては反省すべき点があったのではないかと感じて

います。高松市内の小学校にチラシを配らせていただき、プロジェクトの実施をPRしたつもりでしたが、ZOOMに慣れていない方や子供が見て分かりにくかったのかもしれないなと思いました。できるならば少しでも時間をいただき、子供たちに直接プロジェクトの実施を説明させていただくなどのことができれば、もっと多くの子供たちに認知してもらえたのではないかと思います。

一方で、自宅から体験していただけたことに関しては良かった点もあると感じています。まず、必要なものを事前にお伝えして、自分たちで準備していただくため、災害時どのようなものがあれば必要で、あると便利であるかを考え、知るきっかけとなったのではないかと思います。コロナ禍が終われば、例年のように大学で行うことができますが、こちらがすべて準備して参加していただくだけでなく、今年のように親子で考えていただける機会を残しつつ行うことができれば良いなと思いました。

今後は、オンラインでのイベントの充実化にも注力していきたいと考えています。オンラインでも対面と同様の質を提供することができれば、より多くの人や県外の方々を対象にしたイベントを開くことができ香川大学の存在をアピールするきっかけになるのではないかと考えます。

## 7. 実施メンバー

代表者	松木 謙太 (創造工学部3年)		
構成員	佐藤 美月 (創造工学部3年)	宮地 実佑 (創造工学部3年)	
	西村 匠平 (教育学部4年)	本田 菫 (教育学部4年)	
	明石 崇史 (工学部4年)	千葉 誠也 (工学部4年)	
	堀江 優一 (工学部4年)	宮崎 夢海 (工学部4年)	
	松田 泉智子 (教育学部3年)	富川 みう (法学部3年)	
	中野 将希 (法学部3年)	藤原 悠生 (創造工学部3年)	
	矢野 安珠佳 (創造工学部3年)	麻岡 蛭環 (創造工学部3年)	
	請川 千紘 (創造工学部3年)	大島 史也 (創造工学部3年)	
	鎌田 暉 (創造工学部3年)	北村 颯 (創造工学部3年)	
	河野 拓也 (創造工学部3年)	小林 泰貴 (創造工学部3年)	
	白井 瑞希 (創造工学部3年)	十川 陽香 (創造工学部3年)	
	高岡 璃乃 (創造工学部3年)	高橋 卓椰 (創造工学部3年)	
	武田 脩士 (創造工学部3年)	田中 健太郎 (創造工学部3年)	
	谷本 竜一 (創造工学部3年)	土手 大輔 (創造工学部3年)	
	長尾 陽飛 (創造工学部3年)	中村 公貴 (創造工学部3年)	
	日野田 圭祐 (創造工学部3年)	松田 知樹 (創造工学部3年)	
	眞井 翔太郎 (創造工学部3年)	三谷 純平 (創造工学部3年)	
	三宅 翔太 (創造工学部3年)	三宅 真優加 (創造工学部3年)	
	宮地 実佑 (創造工学部3年)	若林 世那 (創造工学部3年)	
	善積 麻衣 (農学部3年)	山下 泰樹 (創造工学部2年)	

